

今般、新型コロナウイルス感染症対策が喫緊の課題となっている状況を踏まえ、netNACCS等のNACCS端末を事業所外(在宅勤務等)および別の事業所で利用する(同一企業内の他事業所にある端末利用)にあたって、留意事項と対処を以下のとおり取りまとめました。

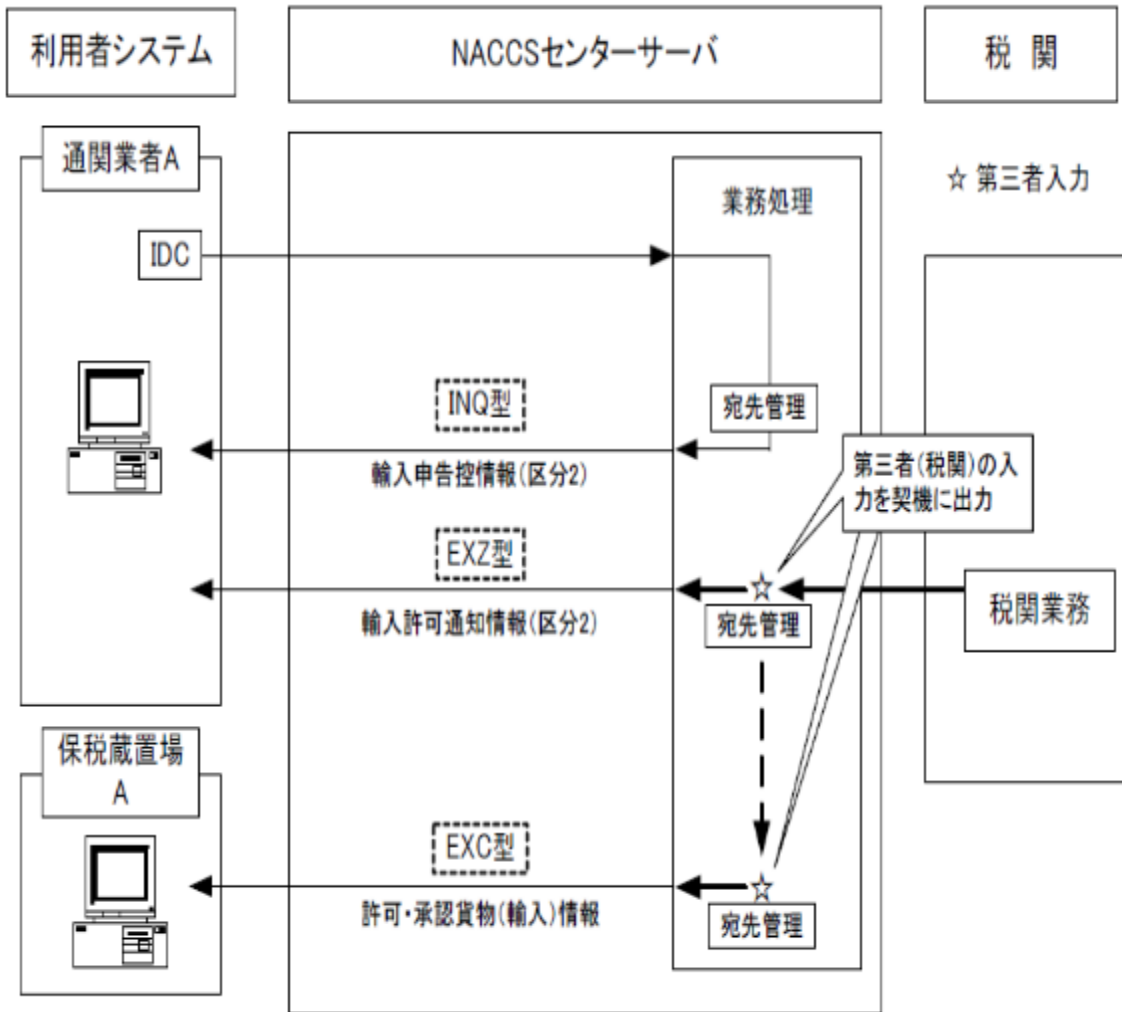
**【留意事項】※詳細は次ページ以降をご確認ください。**

- ① 端末の持出し、他の事業所の端末を利用するにあたり、**端末及び電文の管理にご注意ください。**
- ② NACCSのシステム利用規程およびEDI仕様書の記載(セキュリティ対策ほか)を遵守して下さい。
- ③ 受信電文(非同期(EXC型)電文等)や取得済みの管理統計資料が行方不明とならないよう、お客様で管理をお願いします。  
なお、取得忘れや紛失等が生じた場合に、再配信等の対応は出来ませんのでご注意ください。
- ④ 通関業者の在宅勤務等の開始については、通関業法基本通達に従いあらかじめ税関に申し出る必要があります。
- ⑤ 関係省庁に係る届出を在宅勤務で開始するにあたり疑問点等ありましたら、担当省庁の窓口へご相談ください。

端末を事業所外に持ち出す場合の留意事項 (在宅勤務等)	対処
論理端末の重複登録があった場合や、EXC型電文の宛先となっている場合、電文の取得が困難になる場合が想定されます。	あらかじめ持ち出す論理端末、電文の出力先の管理が必要となります。 ・例えば、EXC電文の宛先が、これから在宅で利用する端末に設定されているような場合は社内の運用を確認し、必要に応じてUOC業務で電文の宛先設定の変更を行ってください。
他事業所の端末を利用する場合の留意事項	対処
EXC型の電文は、宛先設定された端末に出力されます。 入力した事業所の端末ではなく、入力した利用者IDの所属する事業所の端末に出力されます。 ※UOCの実施にあたっては、「利用者コード」と「端末」での所有者チェックがあります。組み合わせが一致しない場合はUOCを実施できません。	・宛先設定を利用者コード宛(蓄積電文)に設定する、または他端末取出しで、他事業所の端末から取得することが可能です。
有料業務を実施した場合、従量料金の請求は、使用した端末の所属する事業所ではなく、業務を実施した利用者IDの契約のある事業所に請求されます。	あらかじめ料金、請求先について関係者間で調整が必要となります。
利用者IDの誤入力、パスワード管理が煩雑になる場合が想定されます。	ログインされている利用者IDの確認、パスワードの初期化等、適切な管理が必要となります。
他事業所の端末で受信した電文の管理が煩雑になる場合が想定されます。	パッケージソフトの受信フォルダは基本は同じになりますので、電文を分けたい場合は、フォルダの追加作成や電文振り分け等のオプション設定を行う必要があります。

# (参考)電文の種類

NACCSで受信する電文は、出力されるタイミングや出力される宛先によって、INQ型、EXZ型、EXC型の3種類に分類されます。ここでは、それぞれの型の電文がどのようなものかを示します。



処理結果電文(出力電文)の出力パターン例

## 電文の種類

### INQ型:即時電文

処理要求電文の入力者宛に直ちに出力される種類の電文です。

(例 通関業者がIDC後、書類審査扱い等になった場合出力される「輸入申告控情報」)

### EXZ型:即時電文

処理要求電文の入力者宛に、第三者の入力を契機に出力される種類の電文です。

(例 通関業者がIDC後、書類審査扱い等になった申告に対して税関にてCEA(輸入申告審査終了)した後、通関業者に出力される「輸入許可通知情報」)

### EXC型:即時電文または蓄積電文

処理結果電文が、処理要求電文の入力者と異なる利用者宛に、第三者の入力を契機に出力される種類の電文です。

(例 税関のCEA(輸入申告審査終了)後、通関場所である保税蔵置場宛てに出力される「許可・承認貨物情報(輸入)」)

※即時電文と蓄積電文については4ページの【参考】部分をご確認ください。

# (参考)EXC型電文の宛先確認方法

EXC型電文の宛先について、利用者コード(5桁)毎に、出力情報コードと出力先を照会することができます。

## UOC01 EXC型宛先管理照会

利用者コード\* BANAC

現在の設定情報が表示されます。

**UOC01 EXC型宛先管理照会情報**

ファイル(F) 表示(V)


利用者コード\* BANAC

	出力情報コード	出力端末名	メールボックスID	メール種別	送信先種別	出力先利用者コード	出力先システム形態
01	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
02	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
03	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
04	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
05	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

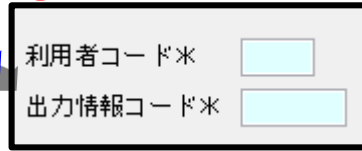
# (参考)EXC型電文の宛先変更方法

EXC型の電文の宛先は、「利用者コード宛て」、「論理端末名宛て または メールボックスID宛て」のどちらかの設定をすることになります。ここでは、EXC型電文の宛先の設定確認及びその設定の変更方法について示します。

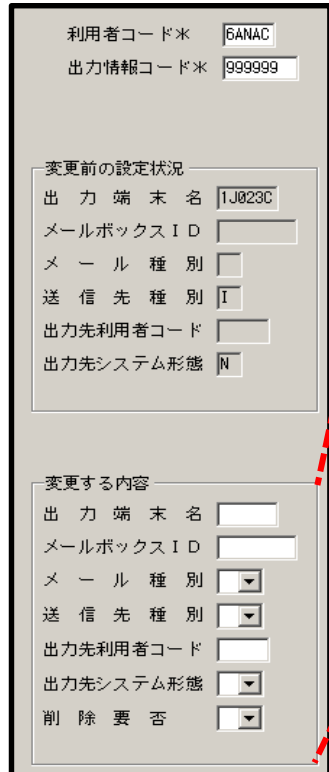
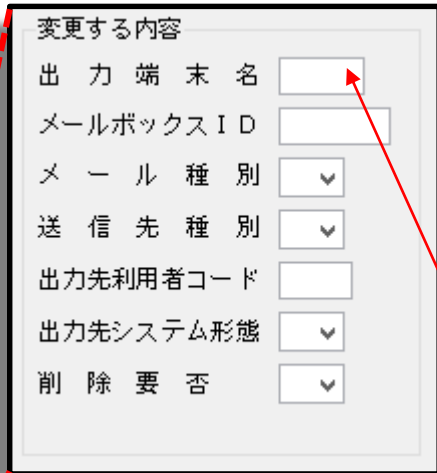
## ① パッケージソフトメイン画面 業務コード入力欄



## ② UOC11業務画面




## ③


## EXC型電文の宛先設定確認および宛先変更方法

- ①UOC11(EXC型宛先管理登録呼出し)業務の業務画面を展開します。
- ②「利用者コード」及び「出力情報コード」を入力し、「送信」をクリックします。  
※「利用者コード」はログオンしている利用者IDの上5桁と同じである必要があります。  
※「出力情報コード」に「999999」を入力することで、全てのEXC型電文を指定の宛先に受信できます。EXC型電文の宛先を出力情報コード毎に指定することも可能です。
- ③UOC(EXC型宛先管理登録)業務の画面が開きます。開いた画面の上段には現在の設定が表示されます。下段に変更する内容を入力し、「送信」をクリックします。

### 【参考】

#### 即時電文とは

EXC型電文の宛先を「論理端末名宛てまたはメールボックスID宛て」に設定した場合、EXC型電文は即時電文となります。

#### 蓄積電文とは

EXC型電文の宛先を「利用者コード宛て」に設定した場合、EXC型電文は蓄積電文となります。よって、EXC型電文を受信したい場合は「蓄積電文取出」ボタンで取得する必要があります。また、「蓄積電文取出」ボタンは「自動タイマ」設定の対象ではないため、手動で取出しを行う必要があります。

### 【注意】

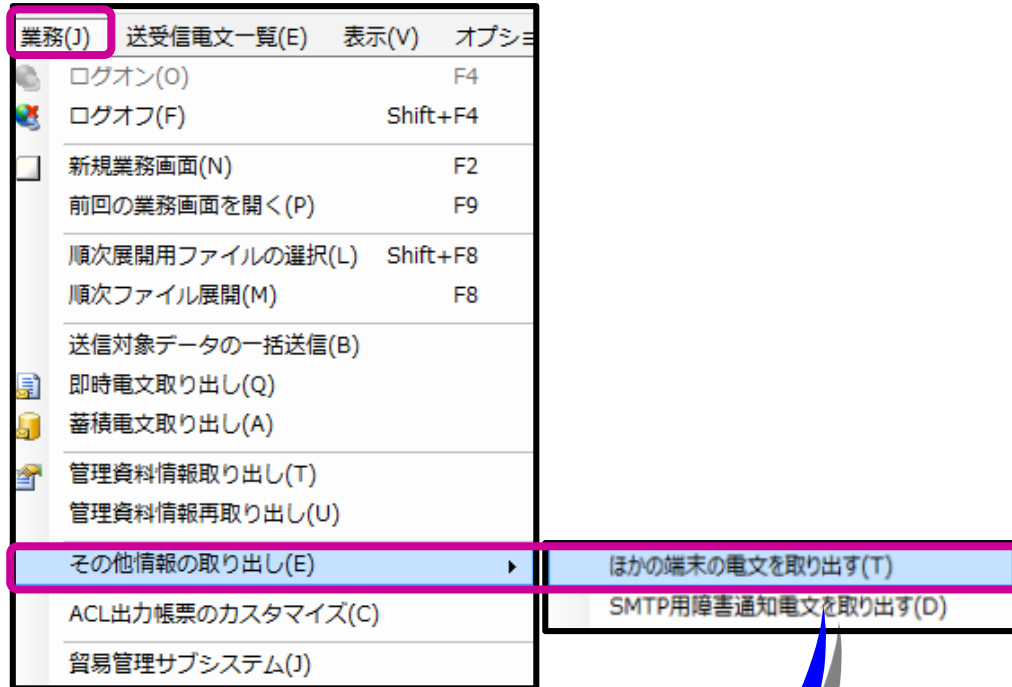
UOC11業務：土日・休日を含む終日実施できます。

UOC業務：土日・休日を除く00:00～23:00の間、実施できます。

※入力された出力論理端末名は入力者の所有する端末であること。

# (参考)他端末電文取出の手順

何らかの理由で電文の出力先となっている端末が利用できないときに、他の端末から電文を取り出すこと(他端末電文取出)ができます。ここでは他端末電文取出の方法について示します。

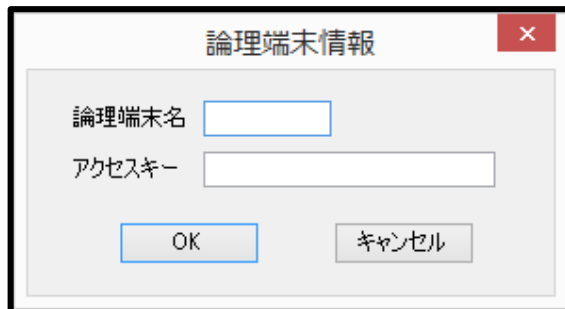


## 他端末電文取出の手順

- ①メイン画面のツールバーから「業務(J)」  
→「その他情報の取り出し(E)」  
→「ほかの端末の電文を取り出す(T)」を選択し、  
クリックします。
- ②「論理端末情報」画面が開くので、「論理端末名」に  
EXC型電文の宛先となっている論理端末名を、  
「アクセスキー」にEXC型電文の宛先となっている  
論理端末のアクセスキーを入力し、「OK」ボタンを  
クリックします。

### 【注意】

- ①他端末電文取出は、あくまでも本来の電文の出力先と  
なっている端末が一時的に利用できない場合の緊急措置  
であるため、電文を取り出す時に都度論理端末名および  
端末アクセスキーを入力する必要があります。  
端末アクセスキーの確認方法は、次ページを参照して  
ください。
- ②他端末で取得された場合、もとの端末では取得できません。  
またもとの端末で取得済みの場合は、他端末取出で取得  
できません。
- ③他端末取出では、未取得の電文すべてを受信するため、  
電文を選択して取得することはできません。



The dialog box titled '論理端末情報' (Logical Terminal Information) contains the following fields and buttons:

- 論理端末名 (Logical Terminal Name):
- アクセスキー (Access Key):
- OK button
- キャンセル (Cancel) button



# (参考) 端末アクセスキーの確認方法



**①NSSにログイン**

ブラウザの戻るボタン、複数のタブ・ウィンドウは使用しないでください。

NACCCSサポートシステム

ログインID  
パスワード

ログインIDとパスワードを忘れた方はこちら  
ログインIDが保持できない方はこちら

ログイン

契約情報 参照

契約情報の詳細を表示します。

契約概要 事業所 netNACCCS 一般NACCCS 請求先

論理端末名 / デジタル証明書

端末情報						デジタル証明書情報		
区分	利用機器区分	パッケージソフト区分	論理端末名	端末アクセスキー	利用開始日	認証コード1	認証コード2	発行日
共用	net	net	111111W	XXXXXXXXXXXXXX	2018/11/01			

**②契約内容確認ページ**

**③論理端末名の横にある「端末アクセスキー」を確認**